



百五十八

三月四日決判

勸業第十一号

114  
A1368

明治十三年一月四日

福島縣下出張先  
奈良原権大書記官

大正十一年四月  
大隈侯爵郵寄贈

輔  
島川

内局書記官

勸業局長  
代理 橋本

會計局長  
代理 木根

試驗地開墾費並老農雇入レ諸費や支出之義ニ付伺  
福島縣下岩代国安積岩瀨兩郡原野追レ開墾存諸般ノ見  
當ハ隨分相立俾得共獨リ培養ノ点ニ於テ更ニ目的無之是地ナリ當  
地方ハ古來熟地、田畑十二八九ハ在來原野ノ雜草ヲ刈取り牛馬ニ踏  
マセテ培養トセシモ原野ノ閑ルニ從ヒ踏草ノ減少レテ熟田ノ培養ヲ





欠クミナラズ其培養ヲ生セシ原野モ又培養ヲ要スルニ至ル是實ニ  
陸羽原野之用墾上ク無ニ困難ヲ完ルル処ナリ故ニ右培養補欠  
ノ方法ニ於テハ多年心ヲ苦メ或ハ土地ノ人民ニ問ヒ或ハ農家ノ人ニ  
計ルニ廣大ノ墾地ニ永世培養ヲ足スノ良策モ事新ラシキ  
ニアラサレ共牧畜ヲ成皿ニスルノ外有ルベカラズト牧畜ヲ成皿ニスルハ  
之ヲ養フノ食料ヲ備フルヲ先務トス其飼料ヲ容易且  
邊ニ盛大ニセンニハ甘薯馬鈴薯ノ類ヲ以テ大ニ繁殖スルヲ急務  
トス然ルニ彼地方馬鈴薯裁種ハ可ナリ開ケタシ共甘薯ニ至リ  
テハ地ヲ耕テ裁種スル者ヲ見ス其裁種者ハ所以モノニツアリ  
一ツハ苗床仕付ノ方法ヲ知ラズニツハ適耕作スルモ收穫ノ日ニ至テ  
ハ半ハ盜難ヲ免レズ三ツハ收穫上保存ノ方法ヲ知ラス故ニ試  
驗地ヲ設テ右等ノ耕作ヲ實地ニ施シ其得失ヲ示シテ深ク人  
民ニ信ヲ取リ之ヲ擴張シテ一日陸羽荒蕪ノ大原野ヲ西薯並

芦粟ノ類ヲシテ填實セシメンコトヲ企望シ當一ケ年對面原ノ中央  
二三丁歩ノ試驗地ヲ設ケ耕作イタシ度 雁間右ニ係ル諸佛見別  
紙豫算 金額本局費ノ内ヨリ即支出相成度甘薯ノ義ハ  
九及地方尤栽培ニ熱シ農具ニ至テモ又当地ニ比スレバ牛  
馬力ヲ以テ耕耘ニ并利ノ機械不斷ノ幸ヒニ此程ノ事ニ付  
該地ヲ呼寄セ候内農事ニ熱シ催者二名ヲ雇入シ吉掛  
リ負ノ内ニ時々見廻リ遊傍農夫ヲシテ使役為致候一ハ彼  
是農事改良ノ一端ニモ可相成候間右兩名ニ係ル旅費是  
使役中ノ賃金是又前同様本局費ヲ以テ即支出相成度  
併ニ段相向申候也



